

令和7年度

事務事業評価表(令和6年度の実績評価)

記入年月日  
令和7年4月1日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for '地球温暖化対策実行計画推進事業' and '生活環境の保全'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1) 事務事業の概要

Table with 2 columns: ①事務事業の概要(事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on CO2 reduction targets and implementation tasks.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for CO2 emissions, facility management, and reduction targets from 05 to 09 fiscal years.

(3) 投入量(事業費)の推移

Table showing input amounts (事業費) and personnel (正規職員従事人数) from 05 to 09 fiscal years. Includes a '期間限定総投入量' column.

Table for '事業費の内訳' (Breakdown of business expenses) comparing 06 fiscal year actuals and 07 fiscal year budget.

(4) 当該年度の実施内容

Table detailing implementation content for 07, 08, and 09 fiscal years, focusing on CO2 reduction management for various plans.

事務事業名	地球温暖化対策実行計画推進事業	事務事業No.	50802000229	所属課	生活環境課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 地球温暖化対策実行計画策定事業により、平成18年度の総排出量を基準年度とし、平成19年に計画、平成20年より実行に移してきたが、平成25年から平成30年までのデータ未収集により比較することができないため、令和3年度を基準年度とし新たに温室効果ガス排出量のデータを収集している。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく事業である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく事業であり、公共関与は妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 温室効果ガスの総排出量を算出するための基礎データを収集する。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 法的義務であり、世界的な問題である地球温暖化対策の推進に係る事業を廃止することはできない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 類似事業なし。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 推進活動を行っていくなかで、削減余地はない。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 地球温暖化対策は法律上でも国際的な課題であり、市役所全体で取り組むため、公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括 (振り返り、反省点) 令和5年度には、地球温暖化対策実行計画 (区域施策編) を策定し、基準年度である平成25年度の実績値53万3千t-co2を把握した。令和32年度のカーボンニュートラル実現という目標の達成に向けて、中間地点である令和12年度までに基準年度比46%削減を目指していく。																						
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下			×																				
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策 費用対効果もふまえて、機械や設備の更新等を計画的に行っていく必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑤																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	--